

## 平成29年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	北の海，潮間帯のフィールド生物学		
実習内容	<p>海と陸の境界である潮間帯では狭い垂直範囲内で環境が急激に変わる。生物たちの分布はそのような環境勾配や生物間相互作用の影響を受けて決まっている。本実習では、潮間帯および潮下帯の生物を対象とし、生物の分布とそれを規定する要因に関するテーマを学生自身で設定し、実験動物の特性を生かした実験系を組み立てながら、問題点を解明して行く。それらの成果をもとにレポートの作成方法を実践する。また海産メイオフアウナ(クマムシ類など)や分類学に関するテーマも設定可能である。事前に担当教員とテーマについて相談することが望ましい。</p> <p>1例:潮間帯の転石海岸には巻貝の1種インダタミガイが生息している。この巻貝の外套腔には扁形動物門渦虫綱多岐腸目の1種カイヤドリヒラムシが住み着いている。この共生系を用いて、この共生系の生態学的意味、あるいはどのようにしてこの共生系が発達してきたのかなど、自主的に命題を設定し、それらを解決する実験や観察を組み立てて命題を解いてゆく。最終日である13日の午後(予定)にはグループ毎に成果を紹介し、互いに理解を深めあう。</p>		
実習内容キーワード	岩礫性潮間帯・微生息環境・行動生態学・分類学・メイオフアウナ		
担当教員氏名・ 所属・役職名	武田 哲・藤本 心太 東北大学浅虫海洋生物学教育研究センター・助教		
協力教員氏名・ 所属・役職名			
対象学生・学年	国公立大学 2年生以上	開講期間	8月7日(月) - 8月14日(月) (予定)
開講大学・施設名	東北大学・浅虫海洋生物学教育研究センター		
施設の住所	〒039-3501 青森市浅虫字坂本9番地		
電話	017-752-3388	F a x	017-752-2765
e-mail	asamushi@grp.tohoku.ac.jp	Web Site	<a href="http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/asamushi/">http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/asamushi/</a>
交通 案内	東北新幹線「新青森駅」から JR 奥羽本線で「青森駅」まで移動、青い森鉄道に乗り換えて「浅虫温泉駅」下車、徒歩 20 分(約 1km)。詳しくはセンターWeb Site を参照。		
費用	1日 2000 円程度 (3食を含む)		
授業科目名	公開臨海実習		
単位数	2 単位	定員数	5 名
授業料の徴収について	徴収しない		
受講生選抜基準と 申し込み締め切り	先着順、人数が多い時には他の公開臨海実習と重複受講しない者を優先します。		
選抜結果連絡法	履修に必要な書類とともに、郵送により本人に直接通知します。		